

滋賀県立陶芸の森のあり方について

令和5年度から「滋賀県立陶芸の森のあり方に関する懇話会」(以下「懇話会」という。)を設置し、有識者等の意見を聴取しながら検討してきたところですが、今般、別添のとおりとりまとめました。

1. これまでの経過

(1) 懇話会

時期		意見交換内容等
令和5年11月21日	第1回	(意見交換の前に現状・課題説明、現地視察) ・ 意見交換
令和6年3月27日	第2回	・ 各種事業の現状をもとに議論・意見交換
令和6年5月28日	第3回	
令和6年8月7日	第4回	・ 第3回までの整理 ・ あり方の方向性について
令和6年12月24日	第5回	・ あり方について

(2) 常任委員会への報告

時期	報告内容
令和5年10月5日	・ 懇話会を設置し、検討を始める旨の報告
令和6年1月30日	・ 第1回懇話会の概要報告
令和6年10月7日	・ あり方の検討状況(方向性)について報告

2. 前回からの主な変更点について

- ・ 観光の視点も含め、信楽地域の「賑わい」のための「あり方」であることを明確化
- ・ 中長期的な視野に立った運営・人材育成を可能とする体制の検討について明記
- ・ 「あり方」をとりまとめたのちの取組み・進め方について明記

3. 今後の進め方について(別添資料 P8・9)

(1) ソフト面でのあり方の反映

- ・ 関係者との連携強化等(「つなぐ・育てる」のための土壌づくり)(令和6年度～)
- ・ 指定管理者の選定、指定管理者の事業計画の中で方向性を反映(令和6年度～)

(2) ハード面でのあり方の反映

- ・ 具体の改修箇所についての調査・検討(～令和7年度)
- ・ 産業展示館の活用に向けた甲賀市との協議等(令和7年度～)
- ・ 上記を踏まえ、財源を含めた全体方針の検討・決定(令和8年度～)

(3) 中長期的な視野に立った運営・人材育成を可能とする体制の検討(令和6年度～)